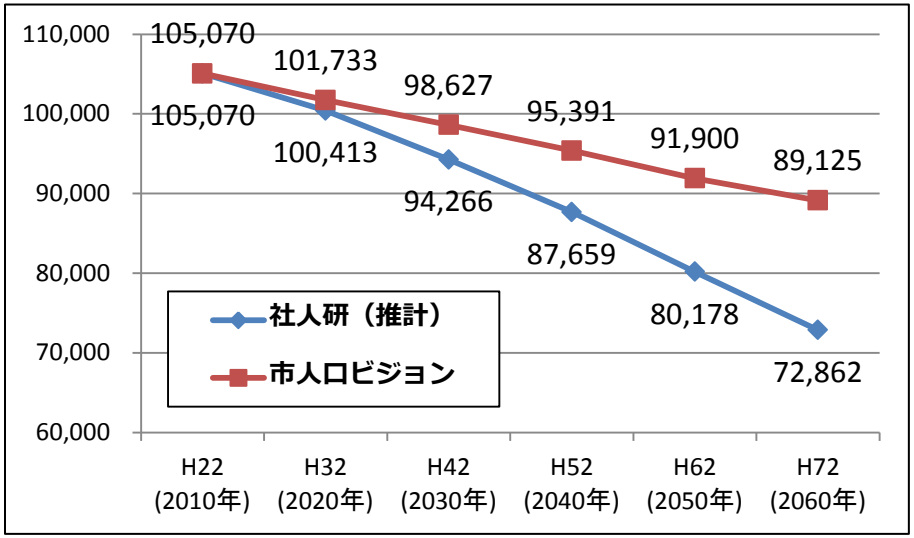
鹿屋市まち・ひと・しごと創生
総合戦略の取組状況等について

平成29年３月
政 策 推 進 課

1　鹿屋市人口ビジョンと総合戦略

鹿屋市人口ビジョン



※社人研：国立社会保障・人口問題研究所

＜人口の将来目標＞

2060年に９万人程度の人口を維持する

①自然増減

2030（平成42）年に合計特殊出生率が2.1となるように段階的に引き上げる。

②社会増減

2020（平成32）年までに転入・転出を均衡させる。

鹿屋市総合戦略

4つの基本目標 → 11の施策（方向性） → 78の事業

■基本目標① やってみたいしごとができるまちへ
- 第一次産業の強化
- 企業誘致、起業支援

■基本目標② いつでも訪れやすいまちへ
- 定住の促進
- 交流人口の拡大（スポーツ、観光振興など）

■基本目標③ 子育てしやすいまちへ
- 結婚、出産、子育て
- 魅力ある教育の提供

■基本目標④ 未来につながる住みよいまちへ
- 地域、世代が未来につながるまちづくり
- きれいで快適なまちづくり
- コンパクトなまちづくり
- 地域と地域を結ぶまちづくり
- 高齢者にやさしいまちづくり

2　目標人口と年度別推移（実績等）

年	①社人研	②人口ﾋﾞｼﾞｮﾝ	③実績（※）	実績－社人研
H26	―	―	104,077	―
H27	102,974	103,177	103,608	+634
H28	102,462	102,888	103,185	+723
H29	101,950	102,599	―	―
H30	101,437	102,311	―	―
H31	100,925	102,022	―	―
H32	100,413	101,733	―	―
・	・	・	・	・
H72	72,862	89,125	―	―

27～32の人口の差を各年度に按分

※：国勢調査（H27）、県人口移動調査（H26、H28）

平成27・28年度の人口（実績）について

○本市の人口（H27・H28実績値）は平成26年から減少し続けているが、社人研の推計や人口ビジョンの目標値を上回る状況にある。

○本市人口の推移については、社人研の推計や人口ビジョンの目標値に対する実績値から年度毎の増減理由を分析・評価するとともに、その要因等に応じた対応策を講じていく必要がある。

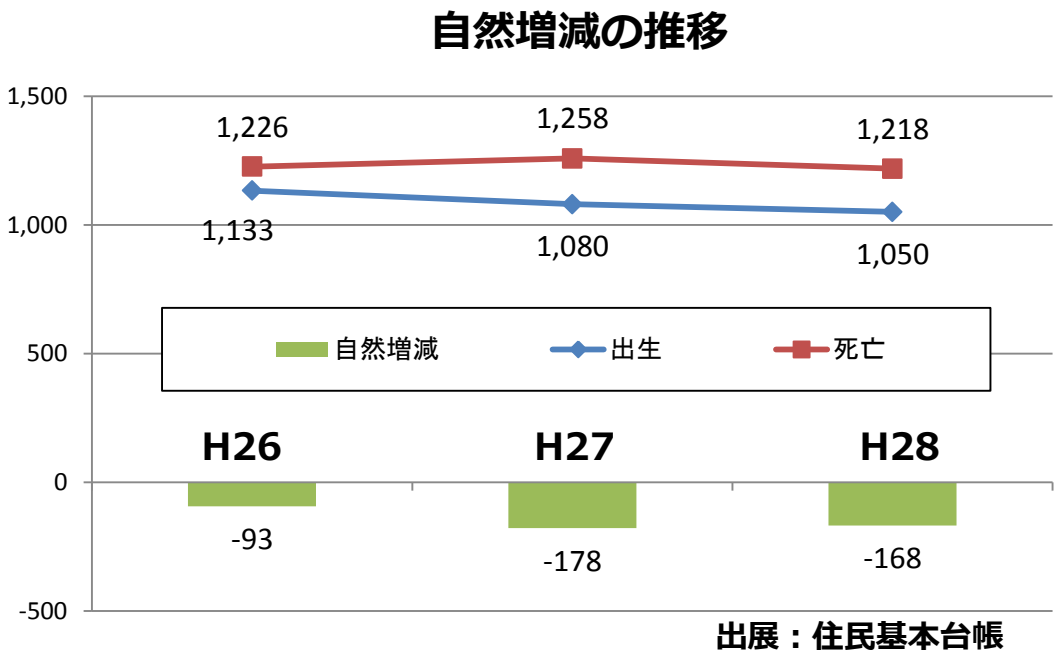
3　人口動態の推移（実績）

【自然増減について】

・出生数、死亡数ともに、一定の水準で推移しているものの、今後、高齢化や若年人口の減少などの影響により、自然減が大きくなっていくことが予想される。

（今後の取組の方向性）

・結婚、出産、子育ての切れ目ない支援の充実強化
・働く場の確保、拡大等による将来の生活への不安解消等
・健康づくり等の推進による健康寿命の延伸



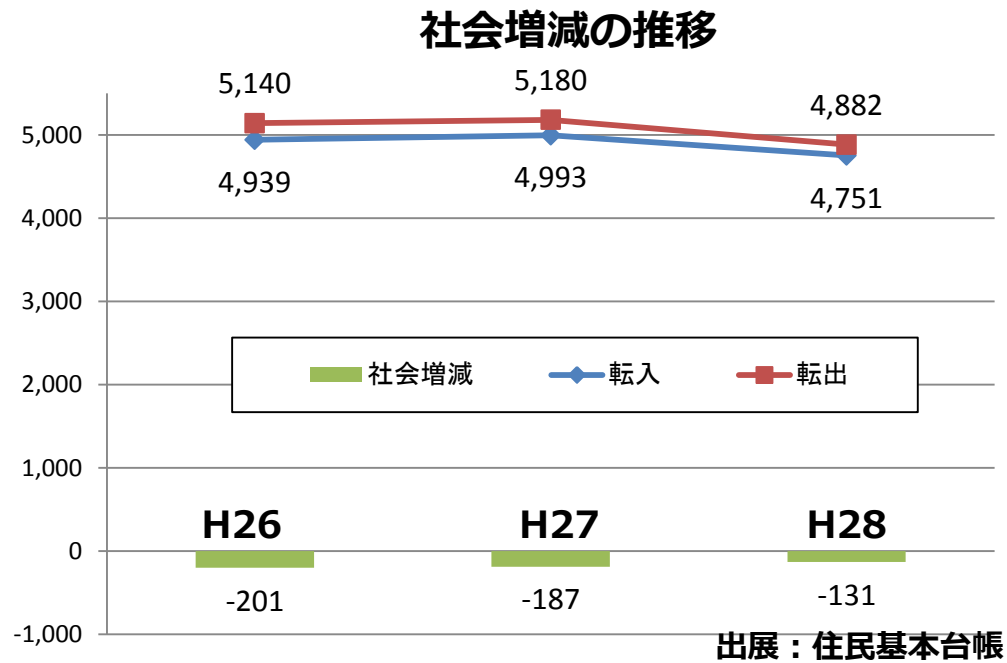
出展：住民基本台帳

【社会増減について】

・依然、社会減（転出超過）の状態が続いているものの、平成26年以降、転入・転出の差が縮小傾向にある。

（今後の取組の方向性）

・移住定住対策の更なる推進
・働く場の確保、拡大による若者等の市内定着、市内回帰の促進
・良好な住環境による、住まいの地として選ばれるまちづくりの推進



出展：住民基本台帳

4-1　主な取組状況等（やってみたいしごとができるまちへ）4

■かのや農業商社の取組

生産者間の連携による鹿屋の総合力を発揮できる体制（情報共有ネットワーク）を確立し、食品流通の川中・川下からの依頼に対応できる産地づくりの推進

【主な取組】
- 機能性ニンジン（こいくれない）の産地化への取組
- 飼料用子実トウモロコシの生産実証

■地域６次産業化の推進

○売れる商品づくり応援事業補助金の創設(H27～)（新商品開発支援）

○まるごと“おおすみ”アグリフード商談会等による販路開拓支援

【アグリフード商談会の実績】

年度	出展数	商談成約数
H27	42社	19件
H28	42社	38件

○地元生産者と加工業者、飲食店等の連携による鹿屋産食材を活用した加工品の商品化

「かのや豚ばら丼弁当」
全国の主要スーパーにおいて、約８万食販売！

■食の魅力発信の推進（カンパチPR、G-GAP等）

○農作物における食品安全基準であるG-GAP認証取得の支援等によるブランド化等の推進

○かのやカンパチの販路拡大や認知度向上のためのイベント開催、消費地への販売促進の実施

【カンパチジャック】

新規販路の実績
- 販売先：４社
- 販売額：約3,800万円

<主な販路>
セブンイレブンのおせち等

■小規模企業立地促進補助金の創設

鹿屋産農作物の消費拡大の一旦を担う業種(飲食業)や、小規模な情報通信業等の立地等に対する助成

年度	支援企業数	新規雇用者数
H27	2社	6名
H28	3社	17名

■企業誘致の推進

立地企業の工場増設、設備投資等に対する助成

年度	企業数	新規雇用者数
H27	3社	17名
H28	6社	52名（見込）

4-2　主な数値目標の推移(やってみたい仕事ができるまちへ)

指標	H26年度（基準値）	H27年度（実績値）	H28年度（見込）	H31年度（目標値）	評価	摘要
かのや農業商社（情報ネットワーク）への参加者数（法人、組合等）	―	―	13者	28者	○	事業：かのや農業商社モデル事業 出典：情報共有ネットワーク会員数（産業振興課）
６次産業化商品開発支援件数	―	４件	４件 （累計８件）	20件 （５年間）	○	事業：地域６次産業化推進事業 出典：売れる商品づくり応援事業補助金の実績（産業振興課）
Ｇ－ＧＡＰ取得農家数	０戸	０戸	２戸 （累計２戸）	５戸 （５年間）	△	事業：食の魅力発信推進事業 出典：取得助成実績（農林水産課）
市内高校新規卒業者の市内への就職者数	93人	76人	―	150人	△	事業：平成29年度新規事業予定 出典：市内６高校聴き取り結果（商工振興課調べ）
小規模企業立地支援件数	―	２社	３社 （累計５社）	10社 （５年間）	○	事業：小規模企業立地促進事業 出典：小規模企業立地促進補助金の実績（産業振興課）
立地企業による雇用者数	2,714人	2,709人	2,762人	2,830人	○	事業：企業誘致推進事業 出典：各年４月１日現在、立地企業の雇用者数の合計（雇用保険加入者数）（産業振興課）

5-1　主な取組状況と成果等（いつでも訪れやすいまちへ）

■定住促進事業（H27～）

○空き家バンク制度の創設
○移住定住相談員の配置（相談窓口のワンストップ化）
○移住体験ツアーの実施

【市の相談窓口等を通した移住件数】

年度	移住件数	うち空き家バンク利用
H27	７世帯(13人)	４世帯(７人)
H28	８世帯(16人)	７世帯(15人)
計	15世帯(29人)	11世帯(22人)

■スポーツによるまちづくりの推進

○産学官連携によるスポーツ合宿の誘致等
（かのやスポーツコミッションの設立）

	H26年度	H27年度	H28年度
合宿者数	16,865人	22,871人	約20,000人

○「Ciel Bleu かのや」等との連携による自転車まちづくりの推進
・かのやサイクルフェスティバル等のイベント実施
・サイクリング環境整備（霧島ヶ丘公園内）

○鹿屋市スポーツ施設再配置計画に基づく施設整備
・平和公園野球等屋内練習場（H27.12月）
・大隅湖第一、第二艇庫の改修（H28～H29）
・平和公園多目的野球場の改修（H28～H29）

■広域観光の推進

○民間事業者と大隅４市５町（行政）で組織する「おおすみ観光未来会議」を発足（H28.4月）
・広域観光計画（取組方針）の策定（H28年度中）
・大隅地域の魅力発信
①「おおすみ食のＥＸＰＯ」の開催
②着地型体験プログラム「大隅手帖」の実施

H30年４月以降、民間主導の「大隅広域観光協会（仮称）」設立予定

20の体験プログラムに148名が参加

■戦跡の保存・活用

○平和学習ガイドの育成、戦跡の整備等

【戦跡整備（駐車場、案内板等）の実績】
①串良基地跡の地下壕第一電信室
②川東掩体壕　③野里国民学校跡

■霧島ヶ丘公園の活性化

○市と協働して霧島ヶ丘公園の有効活用に関する民間事業者からの提案募集を実施

【提案事業の概要：H28から順次整備予定】

	事業内容
①	ちゃりカフェ、アウトドアグッズ等のレンタル
②	大隅広域観光案内所
③	コンテナを活用した店舗群の設置
④	食品加工の体験学習施設等

5-2　主な数値目標の推移(いつでも訪れやすいまちへ)

指標	H26年度（基準値）	H27年度（実績値）	H28年度（見込）	H31年度（目標値）	評価	摘要
空き家バンク利用移住世帯数	―	４世帯	７世帯（累計11世帯）	20世帯（５年間）	◎	事業：定住促進事業 出典：定住促進事業実績（地域活力推進課）
スポーツ合宿受入者数	16,865人	22,871人	20,000人	20,000人	◎	事業：スポーツ合宿まちづくり事業 出典：鹿児島県スポーツキャンプ、合宿状況調査結果（市民スポーツ課）
サイクリングイベント実施回数	―	２回	10回	７回	◎	事業：ホームタウンスポーツ推進事業 出典：市関係のイベント実施回数（市民スポーツ課）
入込客数	約147万人	約141万人	約121万人	約150万人	○	事業：観光PR誘客推進事業等 出典：県観光統計（元データ）（ふるさとPR課）
平和学習ガイドによる案内人数	―	4,102人	2,080人	4,100人	◎	事業：戦跡保存活用事業 出典：市の平和学習ガイドによるツアー等の案内人数（ふるさとPR課）
霧島ヶ丘公園利用者数	224,859人	288,488人	240,447人	305,840人	◎	事業：霧島ヶ丘公園活性化プロジェクト事業等 出典：市公園管理室調べ

6-1　主な取組状況と成果等（子育てしやすいまちへ）

■妊娠・出産の希望をかなえる環境づくり

○特定不妊治療に要する費用の一部助成の実施

【平成27年度実績】
助成延べ件数85名（実人数77名）
⇒うち母子手帳交付：32名

○広域連携による産科医確保対策
　大隅４市５町の首長、議長、医師会長等で構成する協議会を設置し、関係機関等への要望活動等を実施。

<u>平成28年4月、市内の医療機関に新たに２名の産科医が着任</u>

■安心して子育てできる環境の整備

○「子育て世代支援センター」の設置（H28）
　母子保健や育児等に関する様々な悩みに助産師等が対応し、各ケースに合った支援プラン等を提案。

【子育て世代支援センター】
※市保健相談センター内

<u>支援プラン提案件数</u>
<u>926件（１月末現在）</u>

○中学生までの医療費無償化

	H26	H27	H28見込み
医療費助成件数	184,427件	206,457件	222,315件

○かわいい孫への贈り物事業（H28）
　新生児の紙おむつ代の一部助成の実施
（助成額：１万２千円／年）

○子育てすくすくメール事業
　妊娠期から乳幼児期までの月齢に応じた情報やアドバイスをメール配信

○支え愛ファミリー住宅改修応援事業（H28）
　子育て世帯、三世代同居世帯の住宅改修に対する助成の実施
【実績（H28）】子育て世帯：55件
　　三世代同居：18件

○桜ヶ丘子育て支援住宅の整備
供用開始（予定）：H30.3月　整備戸数：40戸

■教育の充実・強化

○鹿屋寺子屋事業（H28）
　鹿屋版の寺子屋を設置し、放課後学びたくてもその環境が整っていない小学生の「学習活動の支援」や「地域との交流活動」を実施

	設置地区
H28	大姶良、花岡
H29	高隈、串良、吾平、寿

○英語教育の充実・強化
・イングリッシュキャンプの実施（H28）
・教育課程特例校指定による小学１年生からの英語教育の実施　など

6-2　主な数値目標の推移(子育てしやすいまちへ)

指標	H26年度（基準値）	H27年度（実績値）	H28年度（見込）	H31年度（目標値）	評価	摘要
不妊治療受診者数	86人	85人	85人	350人（５年間）	◎	事業：不妊治療費助成事業 出典：不妊治療費助成の延件数（健康増進課）
合計特殊出生率	1.93（H20～24）	2.03	ー	1.98（５年間平均）	◎	事業：かのやすくすく子宝サポート事業等 出典：政策推進課による試算
すくすくメール登録者数	345人	767人	578人	700人	◎	事業：子育てすくすくメール事業 出典：各年度の新規登録者数（子育て支援課）
全国学力学習状況調査(全国平均を100とした時の比較：中学３年)	95.0	92.2	92.7	101	△	事業：かのや学力向上プロジェクト事業 出典：全国学力学習状況調査（国語、数学、理科）
英検３級以上取得率	17%	17%	32%	50%以上	△	事業：かのや英語大好き事業等 出典：中学３年生の取得率（学校教育課調べ）

7-1　主な取組状況と成果等（未来につながる住みよいまちへ）

■空き店舗を活用したまちの賑わいづくり

○女性や若者の視点を活かした市民協働ショップ「KITADA SARUGGA」オープン（H28.1月）

○空き店舗への創業支援の実施

○リノベーションワークショップ等の開催によるまちづくり人材の育成

【KITADA SARUGGA】

・起業を目指す女性や若者の支援、育成
・中心市街地を歩きたくなる魅力ある空間づくり

■地域コミュニティ協議会による地域活性化

①美里吾平コミュニティ協議会の取組への支援

・ちびっこノリダー夏合宿、トレッキングモニターツアー等の地域おこしイベントの実施
・居住体験住宅（吾楽暮）の整備等による移住対策の実施　など

②高隈地区コミュニティ協議会の取組への支援

・高隈地区へのツアー誘致（山菜弁当の提供等）
（計７回のツアーで227名の観光客を誘致）
・買い物支援事業（ドライブサロン）の実施
など

■安全・安心な住環境の整備

○鹿屋市総合雨水排水対策事業計画に基づく、計画的な整備の推進
【冠水箇所】58箇所（H26）⇒51箇所(H28年度末)

○危険空家の適正管理
・危険空家解体撤去工事に対する助成の実施
【実績】H27年度：53件　　H28年度：56件

○通学路等の安全対策
・「ゾーン30（寿小）」「レーン30（鹿屋小）」による速度規制
・小学校周辺の横断歩道のカラー化
（５校：鹿屋、寿北、田崎、西原、西原台）

■「輝北キラキラ館」による小さな拠点づくり

農作物直売所「輝北キラキラ館」による買物弱者への宅配、見守り、農作物の収集などの活動を支援

■地域包括ケアの推進

○基幹型地域包括支援センターと９つのサブセンターの設置による支援体制の充実・強化

○認知症支援のサポートワーカーの養成、認知症に関する身近な相談窓口「オレンジの窓」の設置
【実績】サポートワーカーの養成：62名

7-2　主な数値目標の推移(未来につながる住みよいまちへ)

指標	H26年度（基準値）	H27年度（実績値）	H28年度（見込）	H31年度（目標値）	評価	摘要
空き店舗の入居件数	2件	3件	1件 （累計4件）	10件 （5年間）	○	事業：空き店舗を活用した市民協働による街のにぎわいづくり事業 出典：市助成による空き店舗創業件数（商工振興課）
コミュニティ協議会数	1協議会	2協議会	2協議会	6協議会	○	事業：地域コミュニティモデル推進事業 出典：地域コミュニティ協議会設置数（地域活力推進課）
雨水排水対策 （冠水箇所）	58箇所	54箇所	51箇所	35箇所	○	事業：雨水排水対策事業等 出典：都市政策課調べ
危険空家解体進捗率	21.1%	26.9%	31.02%	30%	○	事業：空き家適正管理促進事業 出典：安全安心課調べ （解体件数／管理不全な空き家件数） ※安全安心課把握分
鹿屋市1,000人応援団	―	―	73人	1,000人	△	事業：鹿屋市メンバーズクラブ 出典：鹿屋市1,000人応援団登録者数（ふるさとPR課）

8　総合戦略を推進するための新たな取組

基本目標	事業名等	概要
基本目標① やってみたいしごとができるまちへ	地元就職支援事業（新規）	高校生等の地元就職を促進するため、ハローワークや市内企業と連携した合同企業説明会を実施
	かのや食・農商社推進事業（拡充）	食品流通の川中・川下からの依頼に対応できる産地づくりの取組として、バイヤーを招聘しての個別商談会を新たに実施
	かのやアグリ起業ファーム事業（拡充）	新規就農者の計画的な確保・育成を図るため、輝北町で実施していた研修事業を見直し、関係機関と連携して市内全域を対象とする新たな研修事業を実施
	肉用牛導入基金事業（新規）	新規就農者や意欲のある経営体を育成・支援するため、繁殖素牛導入に係る経費を支援
基本目標② いつでも訪れやすいまちへ	定住促進事業（拡充）	既存の空き家バンク物件の改修補助（上限：50万）、家具等処分補助（上限：５万円）に加え、新たに引越費用に対する補助（上限額：５万円）を実施
	菅原小学校跡地利活用整備事業（新規）	民間事業者との連携により、菅原小学校跡地を体験型スローツーリズムの拠点となる宿泊施設やレストランなどの観光客の立ち寄り機能等を有する施設として改修を実施
	霧島ヶ丘公園活性化プロジェクト事業（拡充）	民間参入事業者の事業開始前に必要な基盤整備（駐車場整備、女性や子どもに配慮したトイレ整備）の実施

8　総合戦略を推進するための新たな取組

基本目標	事業名等	概要
基本目標② いつでも訪れやすいまちへ	観光ＰＲ誘客推進事業（拡充）	ＮＨＫ大河ドラマ「西郷どん」の放送開始を見据え、西郷隆盛ゆかりの地である高須地区と協働で、案内板の設置など地域のまち歩きコースの整備等を実施
	ホームタウンスポーツ推進事業（拡充）	自転車を活用したまちづくりを推進するため、かごしま国体の自転車ロードレース会場となる肝付町、錦江町及び南大隅町と連携した自転車イベントの開催、フィットネスパースを利用したサイクリングロードの整備
	鹿屋市スポーツ施設再配置事業（拡充）	・平和公園多目的野球場を公式大会が開催できる専用球場として改修 ・かのやグラウンドゴルフ場駐車場整備及びトイレ新築整備 ・高隈艇庫（第一艇庫）新築整備
基本目標③ 子育てしやすいまちへ	子育て支援施設整備事業（新規）	児童の安全安心に向けた耐震化や定員増などの保育環境の向上を図るため、保育所や放課後児童クラブの施設整備への助成
	新生児聴覚検査事業（新規）	出生児全員に対し、先天性聴覚障害の早期発見を目的とした聴覚検査に要する費用の一部を助成 ・検査費用：３～８千円 ・助成額：３千円

6　総合戦略を推進するための新たな取組

基本目標	事業名等	概要
基本目標③ 子育てしやすいまちへ	かのやＩＣＴ教育推進事業（拡充）	平成29～31年度までの３か年で、市内の全小中学校の普通教室と理科室に、電子黒板と教師用タブレットを整備
	小中学校施設整備事業（拡充）	教室不足の解消のための新校舎等の建設 ・笠野原小学校（平成30年度中供用開始予定） ・寿北小学校（平成30年度中供用開始予定） ・鹿屋東中学校（平成32年度中供用開始予定）
	文化のまち魅力アップ事業（拡充）	リナシティを博物館に見立て、地域の伝統芸能や若者の芸術・文化活動の発表等を実施（リナシティまるごと博物館事業）
基本目標④ 未来につながる 住みよいまちへ	情報インフラ整備事業（新規）	・光ブロードバンド未整備地区へのサービス提供 ・観光・防災にかかる公衆Wi-Fiスポットの整備
	デマンド交通実証運行事業（総合交通対策事業）（新規）	・公共交通不便地域での新たな公共交通システムの実証運行の実施 ・鹿屋バス停待合所の移設等
	行って誘って健康づくりポイント事業（新規）	市民自ら健康づくりに取り組む意識の向上を図るため、市が実施する健診や健康づくり教室等への参加者に対して、景品等に交換することが可能なポイント付与の実施